令和６年度（2024年度）特別支援教育総合実践事業「特別支援教育充実セミナー」

「切れ目のない一貫した支援のあり方について」

函館市南北海道教育センター
函館市子ども未来部母子保健課
令和６年１０月３１日（木）

内容

- １．函館市の概要
- ２．函館市の特別支援教育推進体制
- ３．現在の取組
- ４．今後の取組に向けて

１．函館市の概要

- 人口　２３７，２８５人（令和６年９月末現在）
  うち　１８歳未満人口　２７，１６７人（函館市子ども未来部推計）
- 函館市の子育て環境
  ・幼稚園・認可保育所・認定こども園　６４か所　・市立小学校　３８校
  ・市立中学校　１８校　・市立義務教育学校　１校　・市立高等学校　１校
- 特別支援学級設置

小学校（義務教育学校前期）

・（知的）	３８校	４３学級	１６９名
・（自閉・情緒）	３７校	５６学級	３０４名
・（肢体）	２校	２学級	３名
・（病弱）	１校	１学級	１名
・（弱視）	１校	１学級	１名

中学校（義務教育学校後期）

・（知的）	１６校	２０学級	９８名
・（自閉・情緒）	１７校	２４学級	１１６名
・（肢体）	１校	１学級	２名
・（病弱）	１校	１学級	１名

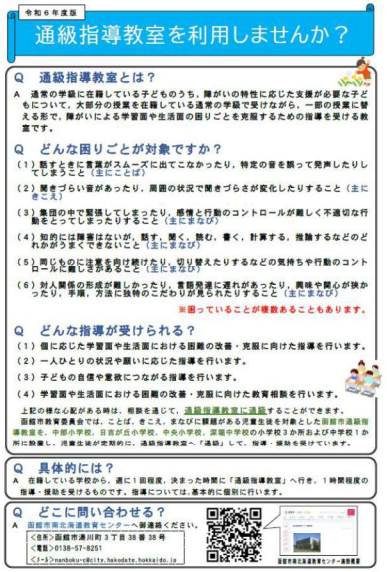
- 通級指導教室

小学校（義務教育学校前期）

・中部小学校　２３名
・日吉が丘小学校　４０名
・中央小学校　４２名

中学校（義務教育学校後期）

・深堀中学校　９名



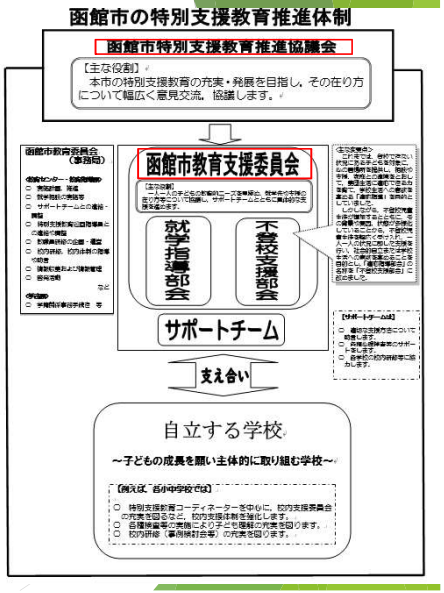
２．函館市の特別支援教育推進体制

▶ 函館市特別支援教育推進協議会（年２回開催）

本市の特別支援教育の充実・発展を目指し，その在り方について幅広く意見交流，協議する。

▶ 函館市教育支援委員会

一人ひとりの子どもの教育的ニーズを見極め，就学先や支援の在り方等について協議し，サポートチームとともに具体的な支援を進める。



▶ 函館市特別支援教育推進協議会（年２回開催）

本市の特別支援教育の充実・発展を目指し，その在り方について幅広く意見交流，協議する。

【組織】

・療育関係	１名
・学識経験者	１名
・教育職員	１０名
・福祉関係職員	３名
・保護者（親の会等）	２名
・行政職員	２名
・就労関係	１名
合計	２０名

令和５年度の協議題

【第１回】
多様な学びの場の整備について

【第２回】
発達障がいと不登校の関連を踏まえた支援の在り方について

▶ 函館市教育支援委員会

【就学指導部会】

視覚障がい，聴覚障がい，知的障がい，情緒障がい，言語障がい，肢体不自由，病弱・虚弱等の児童生徒についての適切な指導・支援のあり方について学校および保護者に，支援方法等について助言する。

【組織】

・医師	１名
・学識経験者	１名
・教育職員	８名
・福祉関係職員	３名
・行政職員	１名
合計	１４名

令和５年度（計８回実施）　就学指導の対象

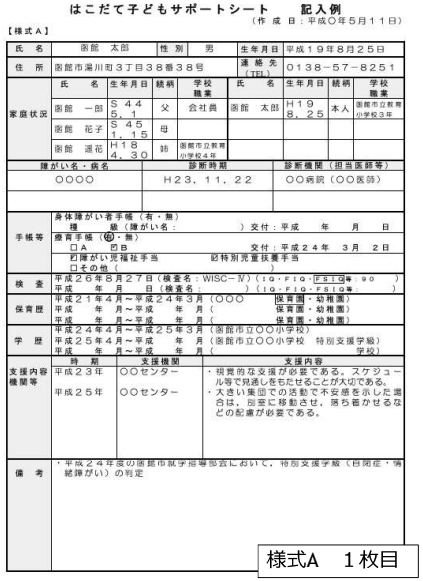
２５８人

（就学予定児童および小中学校在籍児童生徒数等の合計人数）

３．現在の取組

▶ はこだて子どもサポートシートの活用

個別の教育支援計画や個別の指導計画の記載事項を整理した「はこだて子どもサポートシート」を作成，活用し，計画的，継続的な支援の実現を目指す。



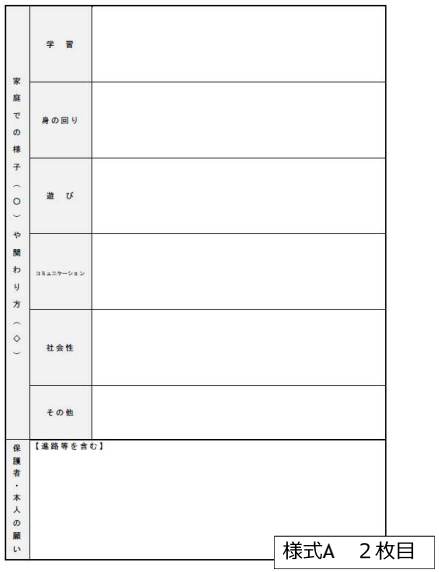
はこだて子どもサポートシート　記入例

（作成日：平成○年５月１１日）

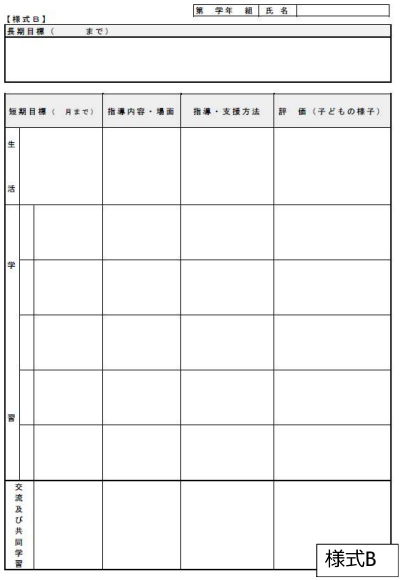
【様式Ａ】

氏名	函館　太郎	性別	男	生年月日	平成１９年８月２５日		
住所	函館市湯川町３丁目３８番３８号			連絡先（TEL）	０１３８－５７－８２５１		
家庭状況	氏名	生年月日	続柄	学校職業	氏名	生年月日	続柄	学校職業
	函館　一郎	S４４．５．１	父	会社員	函館　太郎	H１９．８．２５	本人	函館市立教育小学校３年
	函館　花子	S４５．１．１５	母					
	函館　道花	H１８．４．３０	妹	函館市立教育小学校４年				
障がい名・病名	○○○○	診断時期	H２３．１１．２２	診断機関（担当医師等）	○○病院（○○医師）		
手帳等	身体障がい者手帳（有・無） 種　級（障がい名：　）交付：平成　年　月　日 療育手帳（○・無） □Ａ　□Ｂ　交付：平成２４年　３月　２日 □障がい児福祉手当　□特別児童扶養手当 □その他（　）							
検査	平成２６年８月２７日（検査名：WISC－Ⅳ）（IQ・FIQ・PSIQ等：９０） 平成　年　月　日（検査名：　）（IQ・FIQ・PSIQ等：　）							
保育歴	平成２１年４月～平成２４年３月（○○○　）（保育園・幼稚園） 平成　年　月～平成　年　月（　）（保育園・幼稚園） 平成　年　月～平成　年　月（　）（保育園・幼稚園）							
学歴	平成２４年４月～平成２５年３月（函館市立○○小学校） 平成２５年４月～平成　年　月（函館市立○○小学校　特別支援学級） 平成　年　月～平成　年　月（　学校）							
支援内容機関等	時期	支援機関	支援内容					
	平成２３年	○○センター	・視覚的な支援が必要である。スケジュール等で見通しをもたせることが大切である。 ・大きい集団での活動で不安感を示した場合は，別室に移動させ，落ち着かせるなどの配慮が必要である。					
	平成２５年	○○センター						
備考	・平成２４年度の函館市就学指導懇談において，特別支援学級（自閉症・情緒障がい）の判定							

様式Ａ　１枚目



様式A　２枚目

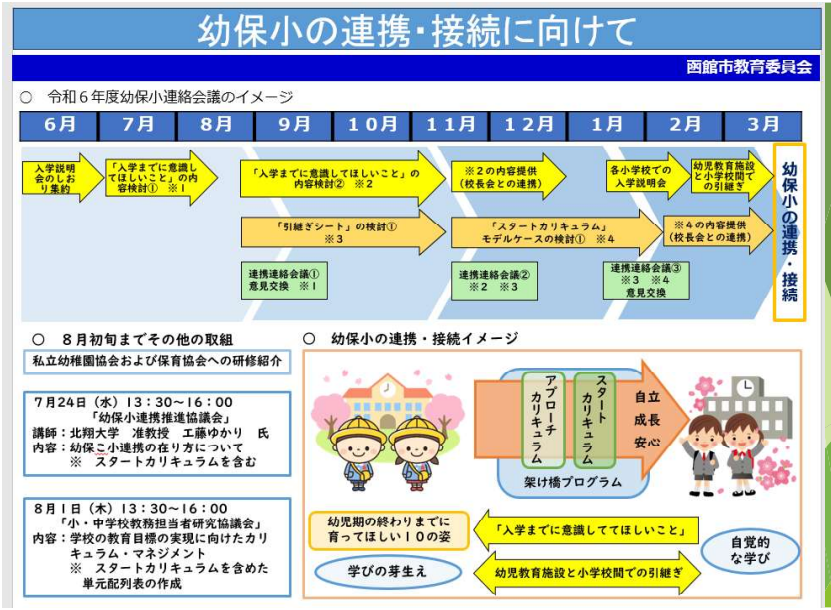


様式B

３．現在の取組

▶ 函館市幼保小連携連絡会議

本市の幼稚園，保育所，認定こども園と小学校等との連携・接続を強化することにより，子どもの発達と学びの連続性を確保し，子どもの育ちの課題解決につなげる体制を構築するため，函館市幼保小連携連絡会議（以下「連絡会議」という。）を設置する。



３．現在の取組

▶ 乳幼児健康診査の実施

子どもの病気等の早期発見および成長発達の状況を踏まえた適切な助言や支援が受けられる貴重な機会であることを踏まえ実施している。

乳幼児健康診査の実施状況

	受診者数	受診率	要指導率
４か月児	972	９８.８%	3.3%
１０か月児	1,018	９８.０%	9.7%
１歳６か月児（～２歳未満）	1,071	９７.７%	14.9%
３歳児（～４歳未満）	1,173	９８.７%	22.0%

（R５年度）

４．今後の取組に向けて

- 函館市特別支援教育推進協議会における支援体制のアセスメント

【　第１回函館市特別支援教育推進協議会　協議の視点　】

「関係機関の連携強化による切れ目ない支援の在り方について」

・本市の支援体制のアセスメント（Ｑ－ＳＡＣＣＳシートを活用）を用いた，
関係機関の連携強化による切れ目ない支援の充実を目指すうえでの課題の共有

アドバイザー
北海道発達障害者支援センターあおいそら　センター長　　片　山　智　博　氏

Q-SACCS シート

	０～３歳	継時的インターフェース（引継ぎ）	４～６歳	継時的インターフェース（引継ぎ）	７～１５歳
レベルⅠ（毎日）日常生活水準	ア ・認定こども園 ・保育園 ・託児所 ・子育て支援センター ・保育士 ・小児科医 ・こども未来部 ・子どもサポートセンター ・子ども誰でも通園制度	カ ・保健師 ・保護者 ・子育てサロン	ク ・保育園 ・幼稚園 ・認定こども園 ・市による乳幼児健診 ・放課後等デイサービス	ス ・指導要領 ・幼保小連携連絡協議会 ・就学前施設の担任	ソ ・特別支援学校 ・小中学校 ・フリースクール ・学童保育 ・児童館 ・民生委員 ・放課後等デイサービス
共時的インターフェース（情報共有・紹介等）	イ ・健診 ・函館市発達支援事業 ・保健師 ・相談支援員 ・障がい保健福祉課 ・自立支援協議会こども部会		ケ ・地区担当保健師 ・保育士 ・函館市障害児等発達支援事業（こども発達支援センター） ・相談支援事業所 ・療育相談		タ ・スクールカウンセラー ・スクールソーシャルワーカー ・小中学校 ・特別支援学校 ・要対協 ・リーフレットによる発信 ・保護者への成果の発信 ・担任 ・校内支援委員会
レベルⅡ（１～数回／週，月　程度）専門医療的支援	ウ ・保健師 ・支援員 ・児童発達支援事業所 ・児童発達支援センター ・保育園 ・認定こども園 ・ゆうあい会石川診療所	キ ・療育カルテ ・保健師 ・個別の支援計画 ・子ども発達支援センター ・保育所等訪問支援	コ ・児童発達支援センター ・児童発達支援事業所 ・こども発達支援センター ・相談事業所 ・ゆうあい会石川診療所 ・函館アリーナ幼児室 ・保育園 ・認定こども園 ・保健師による経過観察	セ ・個別支援計画 ・療育カルテ ・はこだて子どもサポートシート ・各種検査結果 ・保育所等訪問支援 ・要対協 ・市教委による就学相談	チ ・通級指導教室 ・フリースクール ・放課後等デイサービス ・サポートベース函館 ・学童保育 ・ＰＴＡＣＣＳとの放課後学習 ・サマースクール ・特別支援学校 ・療育・自立支援センター
共時的インターフェース（情報共有・紹介等）	エ ・健診 ・主治医 ・相談支援専門員 ・保健師 ・療育・自立支援センター ・五稜郭病院 ・中央病院 ・北病院 ・子ども見守り・相談課 ・児童相談所		サ ・保健師 ・主治医 ・相談支援専門員 ・児童相談所 ・子ども見守り・相談課		ツ ・放課後等デイサービス ・児童相談所 ・子ども見守り・相談課
レベルⅢ医療的支援	オ　　病院 ・ゆうあい会石川診療所 ・中央病院セラピー ・こども子育て支援室（中央病院） ・コドモックル ・発達障がい診断 ＜内：　／外：　＞	・・・継続・・・	シ　　病院 ・発達が依頼 ・小児科（内科，神経内科，精神科） ・ゆうあい会石川診療所 ・中央病院（こども子育て支援室，言葉の教室） ＜内：　／外：　＞	・・・継続・・・	テ　　病院 ・精神科クリニック ＜内：　／外：　＞

４．今後の取組に向けて

- 第２回函館市特別支援教育推進協議会において，本市の資源やシステムについて，各業種における実態把握，課題の共有を行い，次年度の特別支援教育の推進につなげる

御清聴ありがとうございました

函館市南北海道教育センター
函館市子ども未来部母子保健課